



## SNSとの付き合い方

ソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNS）をきっかけとしたいじめやフェイクニュース、誹謗中傷、飲食店での迷惑行為など、様々な話題が報道等で後を絶ちません。元テレビ局員でコンプライアンス（法律やルールを守ること）のプロである山本 一宗さんは、子供がネットと付き合い上で大切なことを書かれています。



子供たちが知っておくべき4つのポイントとして、①人を傷つけない ②法律を知って命を守る ③お金の本質を知る ④正しい情報を見分ける ということです。

山本さんは、「人を傷つけないために、人の意見を聞いたり多様性や人権を尊重したりすることが大事です。法律を知れば、法律が自分を守ってくれるものだということ、ネットで必要な思いやりの持ち方やルールを知ることができます。お金の本質を知れば、ネットゲームで多額の課金に応じたり、電子マネーでお金を使い過ぎたりすることがなくなります。正しい情報を見分けられれば、怪しいネット広告やフェイクニュースなどに安易に騙されなくなります。」と述べています。SNS を使う上では、ルールを勉強しないと、取り返しがつかないことになるのです。個人情報さらされたり、裁判沙汰になり家族に迷惑をかけたりして、自分自身が傷ついたりするのです。これをデジタルタトゥーと言いますが、ネット上に残り、一生影響する可能性もあるのです。子供たちには、「もしこれをやってしまったらどんなことが起きるか」というリスクを予想できる力を養って欲しいと思います。これは、普段の生活の中での体験がとても重要だと考えます。これをやったら相手が傷ついてしまうのではないか、これはどんな影響を与えてしまうのか、など日頃の人間関係を、SNS の世界にも置き換えてみると想像がつく話だと思います。「普段の日常生活と、SNS の世界は別なんだ。」といつの間にか刷り込まれている子供たちがいます。SNS の世界は決してバーチャルな世界ではなく、現実世界の中の一つなのです。想像力を働かせて、SNS と付き合い方欲しいと思います。

## 1年生にも「心のパズル」下敷き寄贈

「わくわく通信204号」でお伝えしましたが、令和4年度のPTA 予算から「心のパズル」下敷きを制作しましたが、予備がありましたので、1年生にも配付することができました。学校や家庭で勉強するときに普段使うのはもちろん、家庭の中の見やすい場所に貼っておくなど、使い方は自由です。家庭の中でも、お子さんが自分の行いを「4つの心」で価値づけたり振り返ったりしながら自己有用感を高めながら自分の成長を実感してくれることを願っています。